

# 樹 姉 ば よ り

No.170  
2018.12



月影祭 (11/3,4) の様子

## 怠 悲 喜 捨

十二月になると、寒さが厳しくなり、日照時間も短くなってきました。そういう日が続くと、人は気持ちが沈んで、気分が晴れない状態に陥りやすくなります。新潟県の友人が、「冬は毎日どんよりと曇って、雨や雪が多くなる」「そういう日が続くと憂鬱(ゆううつ)になる」と話していたのを思い出します。そのようなとき、人はマイナス思考に陥りがちで、それにとらわれ過ぎると、元気を失って鬱(うつ)傾向へ進むことがあると言われています。専門家の話では、自分が鬱のような傾向にあるかどうかは、次のようなことから判断できるということです。まず、睡眠や食欲、興味などが変化しているかどうかポイントになります。夜眠れなかったり、寝たのに疲れが取れない、食欲が落ちる、趣味に興味が関心が持てなくなるなどのことがあるようです。また、考え方に柔軟性がなくなり、思い込みが強くなることもあるようです。

自分の心のエネルギーが低下していると感じたら、自分を守ることを最優先にする必要があります。あるテレビ番組の主人公が、「後ろ向きな選択でもいい、恥ずかしい逃げ方でも、生き抜くことの方が大切だ」と言っていました。全くそのとおりだと思いました。大切なことは、心身を休められる環境を確保し、十分な睡眠をとって、ゆっくりできる時間を持つことです。また、身近な人たちに相談したり、医師の診察を受けることも必要になります。自分の気持ちにとらわれ過ぎず、できることを行って長所を伸ばすようにすること、そして、そのようなゆったりとした時間の積み重ねが自分の気持ちを安定させ、やがて元のように力を発揮できるようになると考えることが大切です。

今年も師走の月となりました。来るべき新たな年を心穏やかに迎え、目的に向かって進んでいけるよう、心身の安定を心がけましょう。

教頭 金安伸一

# 言葉を大切に する学校

明照学園理事長  
野口 秀樹



十二月を迎えました。一年の締めくくりの時です。年の初めに一年の計を立てました。こんな一年にしたい。こんな私でありたい。この様に成長したい。こんな成果を出したい。と思いつきり胸を膨らませたはずです。そう十二月はその検証の時です。自分で歩いた道に責任を持たねばなりません。十二月のこの月を丁寧な努めてまいりましょう。保護者の皆様には一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。改めて感謝申し上げます。十月二十八日、樹徳高等学校男子陸上競技部が全国高校駅伝大会

群馬県大会において初優勝し、全国大会に出場することになりました。おめでとうございませす。選手達の頑張りは見事なものでありました。

十二月二十三日の天皇誕生日には選手達が夢に見た全国大会、京都都大路を疾走する雄姿を見る事ができませす。皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

「十」（プラス）の言葉は「口」にするから夢は「叶」う。「一」（マイナス）の言葉を口に出すと「叶」うはずの夢も一緒に「吐」き出してしま

う。一時、書籍やテレビでこんな言葉を目にしたり耳にする事があつたと思ひます。語呂合わせのような文字合わせのような、実に上手くできています。でもこの中に真実があつたりするのかも知れませせん。

毎日毎日、無意識に発している言葉、大事に出来ているでしょうか。でもこの言葉の影響は無視できないのです。言葉について解りやすい詩がありますので紹介したいと思ひます。

- ひとつの言葉で けんかして
- ひとつの言葉で なかなおり
- ひとつの言葉で 頭が下がり
- ひとつの言葉で 心が痛む
- ひとつの言葉で 楽しく笑ひ
- ひとつの言葉で 泣かされる
- ひとつの言葉は それぞれに
- ひとつの心を 持っている
- きれいな言葉は きれいな心
- 優しい言葉は 優しい心
- ひとつの言葉を 大切に

ひとつの言葉を 美しく

あの有名な北原白秋の作とか、映画「男はつらいよ」の寅さんが使つていたとか、でも作者ははっきりしません。この詩を読んでいると言葉をもつと大切にしたい、そんな気持ちになりませんか。

自分で使つている言葉、誰が一番聞いていると思ひますか。一言一句漏らさず聞いているのは本人、自分自身なのです。だから間違ひなく私の心は自分の言葉に影響を受けている。

日本には「言霊（ことだま）」と言う言葉があります。言葉にはたましいが宿つている。昔の日本人はその霊力の働きをしっかりと受け止めていたのです。神道の神様にあげる祝詞（のりと）はその代表ではないでしょうか。聖書の中にもありました。ヨハネによる福音書第一章、

はじめに 言葉があつた。言葉は神と共にあつた。言葉は神であつた。

言葉の歴史的な重要性が実証されているように怖いくらいです。本校の平成三十年度の学校目標の一つに「言葉を大切にする学校」があります。生徒と共に大事にしていきたいと思つております。

合掌



全国高校駅伝大会群馬県大会で優勝した選手達

# 情熱は意志の力を強くする

## 国語を学ぼう

「なぜ国語を勉強するのか」。このことを疑問に思った人は、少なくないかもしれない。「日本人だし、普通に読めるし、書けるし、……。」と考えるだろう。しかし、それでも、小学校の時から「国語」という教科は存在する。

それでは、なぜ我々は「国語」を勉強するのか。それは、思考と実行を同調、融合させるためだ。あなたが道ばたで石につまづいて転ぶ。当然「痛い」感覚を体で感じる。その時、声に出して言うか、心の中で言うかは別として、「イタイ」という言葉が我々の思考の内に上がる。これは、取りも直さず、日本語である。どういふことかというところ、我々日本人の思考は、日本語でできているということだ。他の例を挙げよう。雨模様が続き、「雨は

嫌だ」と考えるとき、頭の中には「アメハイヤダ」という言葉が浮かんでいく。「アメ」を「イヤダ」と判断するためには、それぞれの語の意味を理解していかなくてはならない。用いるべき言語を持ち出し、配列し、文章とする、この頭の中の作業が無ければ、我々は自らの感覚や思考を表現したり、整理して行動に結びつけることもできないのだ。となると、この頭の中の作業は、どのようにして培うのか。それが、「国語の勉強」である。我々は普段から、自分達の思考、行動を、日本語で考え、整理し、実行しているのであり、感じたことを日本語でまとめているのだから、その能力を高めようと考えたら「国語力」を高める以外にはないのだ。

「仕事」をしつかりこなしていくためにも、「国語力」は必要だ。むしろ、欠かすことができない。社会人としての態度、行動は、思考における言葉による整理、判断が表に出る。ということとは、幼稚な思考、判断は、幼稚な態度となつて表出するということだ。年齢相応の国語力を持っていなければ、その態度や行動が年齢に不釣り合いな、稚拙なものになってしまふ。それは、「彼はその程度の人間なのだ」と判断されてしまふことにつながる。

国語の文章題を解いたことのない人はいないだろう。あの「文章題を解く」行為にも、実に様々な能力が要求される。例えば、評論文を読む場合には、何しろ、筆者の主張を読み取る能力が必要だ。そして、それを読み取るためには、文章を筋道通りに追っていく能力が必要になる。また、文章を読む、という作業を行うには、基本的な漢字の読みや語彙力を持つていなければならぬ。読解のレベルを上げるためには、それらを強化し、知識を豊富にしなければならない。

さらに、設問を解くには、何が問われているのかを理解する能力、問題解決のための指針を立てる能力、問題箇所を素早く発見する能力、それらを総合して解答を導き出す総合力、創造力といった、様々なものが要求される。これら一連の流れは、会社の仕事に例えるならば、得意先の会社からの文書を正確に読み、理解し、相手の要求に応じていくことと同じである。それができなければ、「使えないヤツ」という判断を下されてしまふ。となれば、「国語を学ぶ」ことは、生

きていく上で必要な能力を養うことと同義であると言えるのではないか。少々お堅い話になってきたが、もうそろそろ、あきらめて国語を勉強する気になつてくれただろうか。「仕方なく」でもよい。やってみれば、それが人の知識を増やし、感情を豊かにしてくれる。知性や人間性を高めてくれるのだ。間もなくクリスマス、そしてお正月がやってくる。「誰かに言葉を贈る」季節だ。気の利いた言葉を贈るために、頭を使おうではないか。

(編集子)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

### ■樹徳コミュニティセンター「み法」12月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」  
主催 野村ナナ子さん 13, 20日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾  
主催 上野文雄さん 25日(火)
- (3) 「五人囃子展」  
主催 野村恵子さん 6~9日(日)
- (4) 販売実習(1, 2日 土・日曜日)
  - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
  - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
  - ③ 東北復興支援商品(海産物等)

平成30年11月3日(土)・4日(日)に行われた「月影祭」。  
 総来場者数4,652名のお客様をお迎えし、大盛況となりました。  
 本校の「いまここ」が感じられたでしょうか。  
 今回は当日の様子を写真にてご報告します。

# 月影祭 PHOTO GALLERY.1



来客者で賑わう中庭



月影祭街頭パレードの様子



圧巻! 1000ケースのアクエリアス



楽しいクラス企画



声優・神谷明氏の講演会



おなじみ相撲部のちゃんこ



大盛況の慈善バザー会場



ミニマンマール祭



十月十九日(金)、力誉記念館講堂において、第三十二回合唱コンクールが行われました。

女子生徒の数々の活躍を伝えてきたこの伝統的行事に、男子生徒の活躍が加わったのは昨年の第三十一回大会。共学化に伴い、「女性合唱」だけでなく「混声合唱」も行われました。

そして今年の第三十二回大会。いよいよコンクールで栄冠を競うのは、一年生と中高一貫コース四年生の十六クラスに。部門としては「混声合唱」のみとなりました。新たな形になっても、そこに向けた生徒たちの取り組みは変わることなく、熱心なもの。今年も「樹徳の風物詩」そのままでした。朝・夕・休み時間を使い、数ヶ月にわたって練習に励み、学び舎全体に歌声が響きました。コンクール当日、ステージ

から届く美しいハーモニーの中には、それぞれのクラスが指揮・伴奏・歌唱にどう取り組んできたか、その努力の過程が個性となって表現されていました。今年もコンクールは熱戦となりました。結果は次の通りです。

◇混声合唱の部

**金賞** 一年SS組  
**銀賞** 一年K2組  
**銅賞** 一年J4組

○審査員特別賞

新井詩織(四年一組)

また、「発表の部」として、2年生の音楽履修クラス、そしてコーラス部による合唱も披露され、コンクールに華を添えました。



模範唱(1年SS組)



茶道部へようこそ



衣装コンテスト



おみくじもありました

月影祭  
PHOTO  
GALLERY.2

今回の「月影祭」は、これまでの慈善バザーや部活動の発表の他に、声優の神谷明氏による講演会、数クラスによるクラス発表や実行委員による衣装コンテストなども行われました。



勢至ホールパフォーマンス



黒板アートも・・・

# 一貫校

## 中学校

# だより

### ◆夢はでっかく 根は深く

人生八十年時代において  
中学時代はとも短いもの  
ですが、生徒にとっては密  
度の濃い、人生の基盤を形  
成する大切な時期でもあり  
ます。

標題の「夢はでっかく根  
は深く」は、みなさんご存  
じの詩人相田みつをさんの  
詩です。本校の校歌の中  
にも、「夢は大きく、根は深く」  
と歌われています。

夢を実現させたいなら、  
まず、しっかりとした根を  
はらなければいけないこ  
と、そして、根を深くはれ  
ばはるほど（基礎をしま  
りかためるほど）、夢の実  
現に近づけるということ  
この言葉は教えてくれてい  
ます。相田さんは、根が深  
くはれると、夢はさらに大  
きくなる、幸せな体験や成  
功体験だけでなく、失敗体  
験が根を深く、太くすると  
もいっています。安直な夢  
は、風船のようなもので、  
手を離すとあっという間に

大空に飛んでいってしま  
います。  
大人から見ると、中学時  
代に描いている夢は、まだ  
漠然としていて、どこか絵



### ～結果～

- 金賞 3年1組
- 銀賞 3年2組
- 銅賞 2年1組
- 最優秀指揮者賞  
1年1組 亀山 涼
- 最優秀伴奏者賞  
3年2組 廣島 咲良

### ◆校内合唱コンクール

空事のようなイメージを  
持つてしまうこともありま  
すが、将来の目標を心のう  
ち底にしっかりと秘めて、真  
剣に考えている生徒も本校  
にはたくさんいるよう  
です。  
中学校時代に経験したこ  
と、学んだこと、夢みたこ  
とは、少なからずその後の  
人生に影響を及ぼし、未来  
の進路につながっていくも  
のです。そういう意味から  
も生徒一人ひとりの夢の実  
現に向け、教師も親も、しっ  
かり関わっていききたいも  
のです。  
副校長 澁谷 和郎

十月二十四日（水）桐  
生市シルクホール（小ホー  
ル）にて樹徳中学校の合唱  
コンクールが行われまし  
た。生徒達はこの日のため  
に音楽の時間だけでなく朝  
や昼、放課後などを練習時  
間にあて、練習を重ねてき  
ました。本番では充分に各  
クラスの力が出せた合唱を  
披露することができまし  
た。午後の部では音楽部や  
五年生が工夫を凝らした素  
敵な合唱をしました。



### ◆月影祭

十一月三日（土）四日（日）  
に月影祭が実施されまし  
た。月影祭とは明照学園で  
二年に一度行われる文化祭  
のことで、生徒達はこの日  
のために少しずつ準備をし  
てきました。クラスや部活  
の展示だけでなくダンス  
部のダンスや音楽部合唱演  
奏、茶道などが行われまし  
た。二日間で一〇〇名近  
い来校者をお迎えして大変  
盛り上がった月影祭となり  
ました。

### ◆尾瀬文学賞俳句大会

第十一回尾瀬文学俳句賞  
大会で特別賞に二年生諸岡  
明音さん、優秀賞を二年生  
高草木真子さん、新島圭太  
君がそれぞれ受賞しまし  
た。

### ◆人権作文

人権作文コンテストで二  
年一組藤田莉乃葵さんが桐  
生市で最優秀賞、群馬県で  
ダイヤモンドベガサス賞を  
受賞しました。曾祖母の入  
院を中心に人権について考  
えたことをまとめた作文で  
した。

### ◆樹徳中学校第2期入学試験 平成30年12月8日（土）

出願期間 平成30年11月27日～12月4日  
土日を除く

### ◆樹徳中学校第3期入学試験 平成31年2月9日（土）

出願期間 平成31年2月6日～2月8日

お問い合わせ TEL 0277-45-2257

# 幼稚園だより

## 「春に向けて 力を蓄える冬」

緒に、元気いっぱい、楽し  
みながら練習に取り組んで  
います。

## 「樹の心」

十一月十六日の読売新聞  
夕刊（よみうり寸評）に掲載  
された、高田敏子（詩人）さ  
んの「樹の心」という詩を  
読んで、園庭の裸になつた  
桜の樹と、子どもたちの  
姿が目に見え、強く心に  
残ったので、一部掲載しま  
す。

## 「樹の心」

師走に入り、寒さが厳し  
くなくなってきましたが、空  
気の澄んだ夜空には、冬の  
星（オリオン・カシオペア）  
がとってもきれいに輝いて  
います。園庭では木々の  
葉っぱが散り、一層寒さを  
感じますが、子どもたち  
にとっては、楽しみがいっぱ  
いの十二月です。交通安全・防  
犯員による「交通安全・防犯  
教室」・「なかよし発表会」・  
「餅つき大会」と、行事が  
続きますが、メインは発表  
会。子どもたちは先生と一



月影祭「合唱発表（年長）」

野球の話に置き換えるな  
ら、樹はチーム全体であり、  
個々の選手でもあろう。そ  
の幹を、枝を、キャンプや  
自主トレでどこまで太くで  
きるか。  
これを、園に置き換える

忘れられているときが  
自分を見つめ  
充実させる  
ときである、ことを  
樹は知っている

へ花の季節を愛でられて  
花を散らしたあとは  
忘れられている さくら

なら、樹は園全体であり、  
個々の園児でもあろう。そ  
の幹を、枝を、どこまで太  
く（成長）できるか。桜  
が蓄えた力で花を咲かせ  
るように、この冬、子ども  
たちが力をしっかり蓄え  
て、春には太く、大きく飛  
躍できるよう、支援（教育・  
保育）に努めていきたいと、  
痛感した記事でもありまし  
た。

## 「楽しく伸び伸びと」

十二月十五日（土）、樹  
徳高校「勢至ホール」にお  
いて、なかよし発表会を開  
催いたします。四月から一  
つずつ成長し、園生活を  
送ってきた子どもたちの、  
たくましく無邪気な可愛ら  
しい姿や、練習の成果を、  
多くの皆様には是非見てい  
だきたいと思えます。  
各学年の取り組みと、演  
目を紹介します。

## 「年少すみれ組」

毎日好きな野菜に変身し  
たり、お歌も一生懸命歌お  
うとしている姿が、とって  
も微笑ましく、当日の発表  
が楽しみです。

「・劇」にんじんさん・だ  
いこんさん・ごぼうさ  
ん」・歌（リトミック）  
「パンダ・うさぎ・コアラ  
「むすんでひらいて」

## 「年少もも組」

練習を通して、ひとつの  
ものを作り上げるために、  
協力したり助け合う姿が可  
愛く、合奏も歌も劇も楽し  
く頑張ります。「・劇」さ  
るかに合戦」・合奏「アイ  
アイ」・歌「はたらくる  
ま」

## 「年中さくら組」

難しいリズム、一人での  
セリフ、初めてのピアノカ  
演奏に挑戦します。クラス  
となつて頑張ります。

「・オペレッタ「ピーマン  
マンとかげひきキン」・合  
奏「地球はみんなの大会  
唱」・歌「メダルあげま  
す」・ピアノ演奏「キラ  
キラ星」

## 「年長たけ組」

幼稚園生活最後の発表



「焼き芋大会」イモを火の中へ

会。難しい楽器にも挑戦し  
たり、歌や劇、リズム等に、  
年長として堂々と大きな声  
で頑張ります。

「・オペレッタ「金のがちよ  
う」・合奏「せかいじゅう  
のこどもたちが」・歌「と  
もだちになるために」・ピ  
アノ演奏「もろびとこそぞ  
りて」・思い出のアルバム・  
朗読「おおきくなるって  
いうことは」

## 「年中・年長合同」

「・合奏「サンタが街にやっ  
てくる・ドレミの歌」発表  
会は、毎日の教育・保育  
の延長であり、まとめであ  
り、次の成長の足がかりで  
もあります。保護者皆様  
や関係皆様のご支援ご協  
力、よろしく願います。

園長 瀬谷 茂

## 「入園願書受付」

三十一年度入園願書（二・  
三歳・転入園）を受け付けて  
おります。願書提出は早めに  
樹徳幼稚園まで（定員になり  
次第締め切らせていただきま  
す）

○園見学はいつでもでき  
ます。ご連絡ください。

※連絡先

〇二七七一五二一五五七一

http://www.jutoku.ed.jp/ki  
nder

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	土	GTEC③ 2年生修学旅行帰桐	5年生修学旅行帰桐	
2	日			
3	月	LHR 学年主任会⑦ 2年生振替休日(12/1)	中学校期末試験(～5日) 三者面談(～6日)	幼交連交通安全教室
4	火			成道会・数珠くり(大善寺) リズム(全)
5	水	授業料納入日 県校長会 献血①	授業料納入日	保育料納入日
6	木	マイトリー基金拠金日		
7	金	献血② 後援会役員会③	保護者による生き方教室	入園面接(10:30～)
8	土	成道会	第二期入学試験	
9	日			
10	月	朝礼 教科主任会⑦	頭髮服装指導	
11	火			読み聞かせ(西山先生) リズム(全)
12	水			
13	木	担任宛成績提出		
14	金	校内マラソン大会 法人役員会	校内マラソン大会 法人役員会	なかよし発表会予行練習(樹徳高校勢至ホール) 法人役員会
15	土			なかよし発表会(樹徳高校勢至ホール)
16	日			
17	月	LHR(人権教育) 推薦・学奨入試願書受付(～18日)	ミニマナーアップ運動	なかよし発表会代休日・預かり保育
18	火	教務宛成績提出		ボール投げ教室
19	水	2学期出欠締切 制服アフターサービス		
20	木	学年別一斉指導 成績会議		
21	金	終業式 大掃除 奨学生審査会②	終業式・大掃除	終業式 餅つき大会
22	土			冬休み(～1月8日)
23	日	天皇誕生日	天皇誕生日 音楽部定期演奏会	天皇誕生日
24	月	振替休日	振替休日	振替休日
25	火	入試準備事務① 冬期特別課外授業開始	WSL(～27日) 実力養成特別補習(～27日)	預かり保育① 群私幼研究委員研修会
26	水	入試準備事務②		預かり保育②
27	木	入試準備事務③		預かり保育③
28	金	振替休日(1月12日)	振替休日(1月12日)	預かり保育④ 仕事納め
29	土	職員休暇	職員休暇	年度末特別休暇(～31日)
30	日	職員休暇	職員休暇	
31	月	職員休暇	職員休暇	

※ 3日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。



樹徳高等学校  
樹徳中学校  
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

[Web] [www.jutoku.ed.jp](http://www.jutoku.ed.jp) [Mail] [office@po.jutoku.ed.jp](mailto:office@po.jutoku.ed.jp)

発行責任者 野口秀樹  
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく